

～沼津市富士山火山防災マップの作成～ 新たに作成した**沼津市富士山火山防災マップ**を配布します

要 旨

富士山火山の被害想定が見直され、溶岩流の流下範囲が拡大し、沼津市が火山災害警戒地域に指定されたため、令和5年3月に富士山火山防災対策協議会（静岡県・山梨県・神奈川県）の各行政機関等で構成）が策定した富士山火山避難基本計画の避難方針に基づき、「沼津市富士山火山防災マップ」を作成しました。

この防災マップは、想定される火山活動により、どのような火山現象が起こり、どの範囲までどのような影響が及ぶのかを住民が把握し、日頃の備えや緊急時の避難に役立てていただくことを目的として、市内全戸を対象に令和6年3月15日号の広報ぬまづと同時に配布するほか、危機管理課窓口等にて配布します。また、市ホームページに掲載します。

概 要

【主な掲載内容】

- ・ 火山現象の解説（火山災害の危険性）や噴火警報等の情報（噴火警報、噴火警戒レベル）
- ・ 本市への被害想定範囲や溶岩流の到達時間
- ・ 住民や一時滞在者への情報伝達手段等（情報伝達経路、情報入手先等）
- ・ 周知情報（心構え、避難時の注意事項、携行品の種類、非常時の連絡先）

【本市への影響】

- ・ 富士山の噴火口は252地点であり、本市に影響があるものは10地点です。
- ・ 溶岩流の流下については、マップに15パターンを表示していますが、このうち本市に溶岩流が到達するのは1パターン（パターンD）で、噴火の位置や規模により、最短で18時間後～最長で57日以内に到達する想定です。
- ・ 火山灰については、市内の住宅地に2～10cmの積灰が予想されています。



お問い合わせ先

沼津市役所 危機管理課
直通：055-934-4803

沼津市 富士山火山防災マップ

富士山全体の災害想定(可能性マップ)

この領域図は、富士山が252地点全ての火口から噴出した場合に、溶岩流、噴石、火砕流などの影響が及ぶとされる範囲を全て重ねて描いたものであり、一度の噴火で全ての方向に同時に発生することを意味するものではありません。

火砕流
火砕流が発生したときに、高温のガスが高速で動く範囲です。高温の岩や火山灰、火山ガスの混合物が斜面を高速で流れ下ります。

噴石
火口から噴出した約20～30cm以上の石が落ちてくる範囲です。落下では、マップに着色されていない範囲でも小さな噴石に注意してください。

融雪型火山泥流
雪が積もっている時に噴火し、そうなった場合に、沢や川には近寄らないようにする必要があります。積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれる可能性のある範囲を示しています。

降灰後土石流
火山灰が厚く積もると雨で流れて土石流となるため、降灰時に警戒(備え)による避難が必要となる範囲を示しています。火山灰が厚く(10cm以上)積もる地域では、少しの雨でも土石流が発生しやすくなるため、注意が必要です。

溶岩流
溶岩が流れ始めた場合に到達するかもしれない範囲

高温の溶岩が斜面を流れ、人や道路を襲い、近くの木々を燃やします。流れの速さは人が歩く程度なら余裕を持って逃げることが可能です。

第1～3次避難対象エリア
溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲

第4次避難対象エリア
溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲

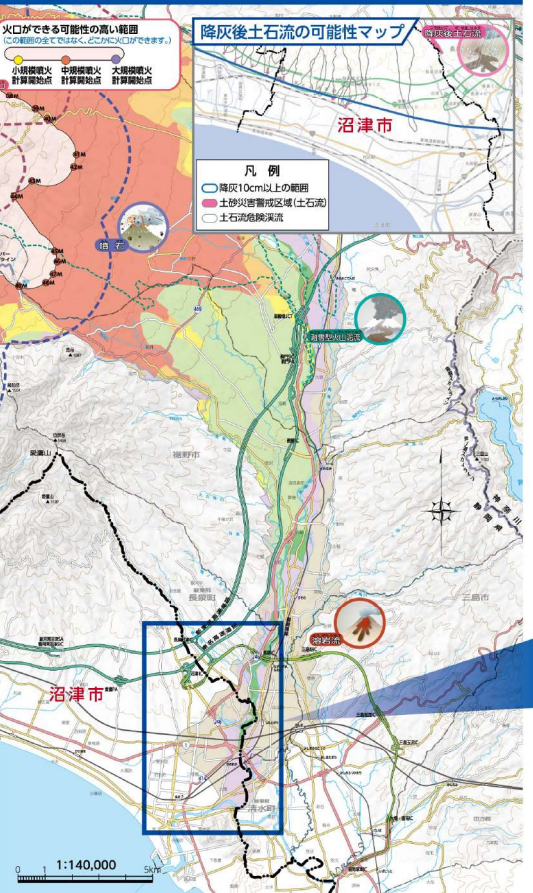
第5次避難対象エリア
溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲

第6次避難対象エリア
溶岩流が最終的(最大で57日間)に到達する可能性がある範囲

気象庁が発表する富士山火山の情報(噴火警戒レベル)と避難の全体イメージ

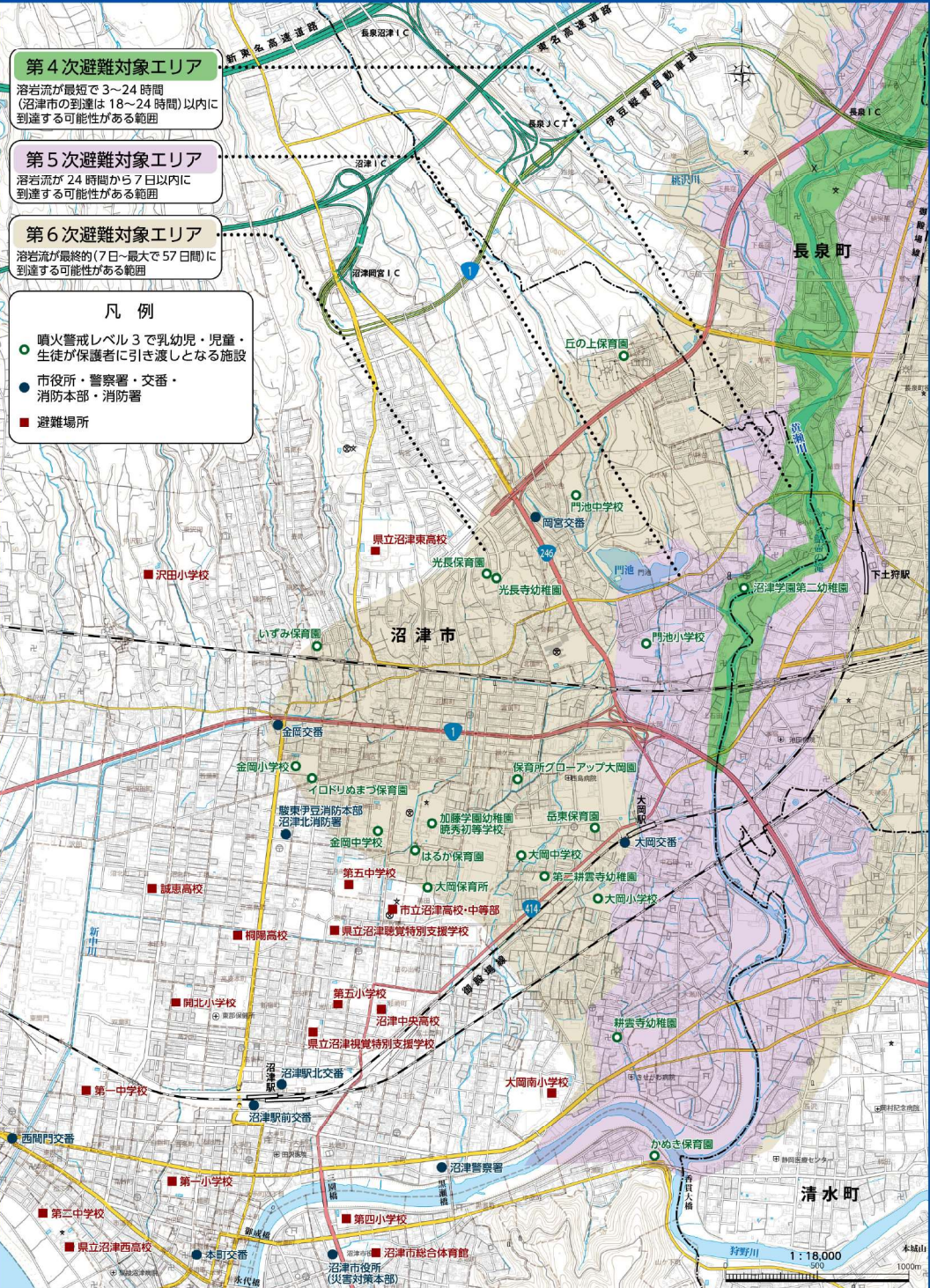
種別(名称)	噴火警戒レベル	対象範囲	火山活動の状況	想定される現象
予報(噴火予報)	レベル1	火口内等	火山活動は静穏、火山活動の減少によって火口内や火山灰の噴出が減少している	●火山活動は静穏
	レベル1(警戒情報(臨時))	富士山では噴火前(火口)位置が特定できないことから、噴火警戒レベルがレベル1からレベル2に引き上げられることとなっています。このため、噴火警戒レベル1において、所定情報(臨時)が気象庁から発表された場合、噴火等の異常事態に備える体制を定めています。	●噴火警戒レベル1に引き上げられることとなっています。このため、噴火警戒レベル1において、所定情報(臨時)が気象庁から発表された場合、噴火等の異常事態に備える体制を定めています。	
警報(噴火警報)	レベル3(火山規制)	火口から噴出する溶岩、噴石、火砕流	●居住地域に影響を及ぼす噴火の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。	●居住地域に影響を及ぼす噴火の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。
特別警報(噴火警報(居住地域))	レベル4(高齢者等避難)	居住地域及びそれより火口側	●居住地域に重大な被害を及ぼす噴火の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。	●居住地域に重大な被害を及ぼす噴火の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。
噴火警報	レベル5(避難)	居住地域及びそれより火口側	●大規模な噴火、地震、噴石、火砕流の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。	●大規模な噴火、地震、噴石、火砕流の発生、または地震、噴石の増加など、火山活動の増加が予想される。
噴火状況判明後				

避難の全体イメージ	
避難対象エリア	
第1～3次避難対象エリア	想定火口範囲～溶岩流が3時間以内に到達する可能性がある範囲
第4次避難対象エリア	溶岩流が3～24時間以内に到達する可能性がある範囲
第5次避難対象エリア	溶岩流が24時間～7日以内に到達する可能性がある範囲
第6次避難対象エリア	溶岩流が最終的(最大で57日間)に到達する可能性がある範囲



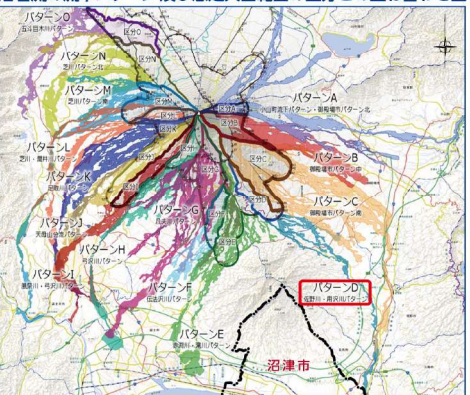
沼津市の溶岩流の想定影響範囲

この図は、富士山が噴火し、沼津市に溶岩流が到達する可能性がある場合に想定される溶岩流到達エリアを示しています。このため、図の避難対象エリア内の住民は、避難対象エリア外に避難する必要がありますが、噴火の火口位置又は規模によっては、溶岩流が沼津市まで流れない可能性があるため、避難のタイミングは沼津市からの情報に留意してください。



■ 溶岩流の火口位置の特定が困難である場合の対応について

溶岩流の流下パターン^{※1}及び想定火口範囲の区分との重ね合わせ^{※2}



■ 溶岩流の流下パターンについて

噴火開始直後において、夜間や天候によっては、火口の詳細な位置を即座に特定できない場合が想定されますが、溶岩流が早く到達するエリア(24時間以内)は、避難の迅速性を確保する必要があります。
溶岩流の到達が想定される前の段階において、幅広い範囲の想定火口から、ある程度の溶岩流の流下を推定し、避難指示を出すための目安として作られたものが、左図の溶岩流の流下パターンです。

■ 沼津市に影響する流下パターン

溶岩流の流下パターンをA～Oの15のパターンに分けた中で、沼津市に24時間以内に影響する流下パターンはDの1パターンとして示されています。
沼津市の第4次避難対象エリアの避難指示は、この流下パターンの状況を考慮して行います。

計算開始点	溶岩流流下パターン(24時間到達範囲)	想定火口範囲の区分
大規模噴火の想定火口位置	流下パターンA 流下パターンB 流下パターンC	区分A 区分B 区分C
中規模噴火の想定火口位置	流下パターンD 流下パターンE 流下パターンF	区分D 区分E 区分F
小規模噴火の想定火口位置	流下パターンG 流下パターンH 流下パターンI	区分G 区分H 区分I
	流下パターンJ 流下パターンK 流下パターンL	区分J 区分K 区分L
	流下パターンM 流下パターンN 流下パターンO	区分M 区分N 区分O

※1 流下範囲は24時間以内に到達する可能性のある範囲を指す。
※2 全ての流下パターンを重ね合わせた図であり、実噴火時に、一度にここで示された範囲の全てが影響するわけではない。

■ 沼津市に流れ出る可能性のある溶岩流の時間的な推移について

※ 各計算開始地点の溶岩流ドリルマップを重ね合わせ図で、一度の噴火でここに示された範囲の全てに溶岩流の危険が生じるわけではありません。

■ 噴火規模について

富士山の火口は、過去に噴出した火口を基に想定した火口範囲を大規模噴火・中規模噴火・小規模噴火ごとに設定されています。

■ 沼津市に影響する火口について

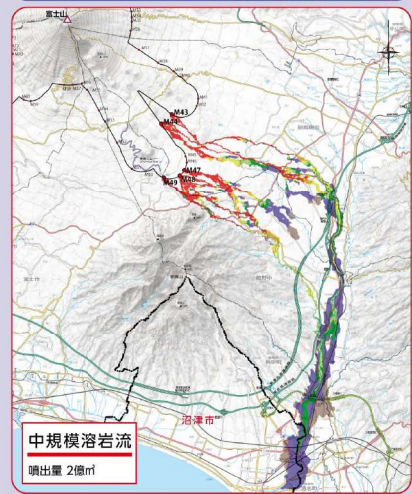
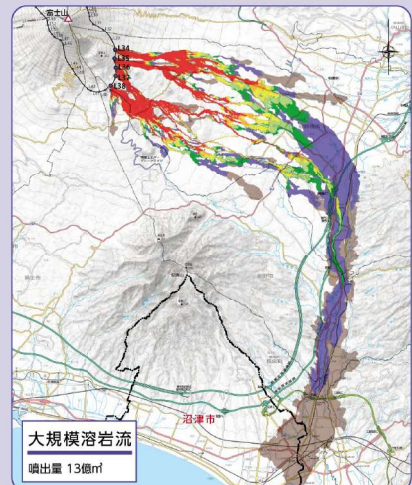
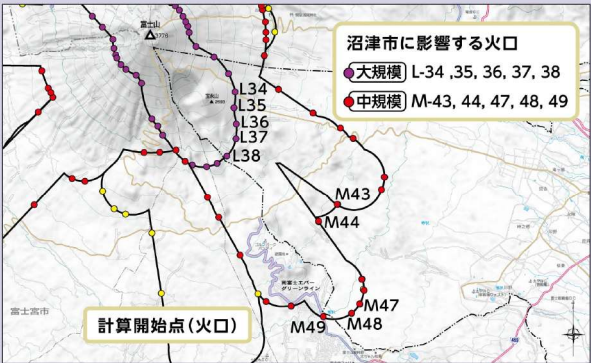
噴火による溶岩流が発生した場合、その計算開始地点(火口)は、全部で252点設定されていますが、そのうち、沼津市に影響するものは、10点と想定されています。
この10点から流れ出る溶岩流を大規模噴火と中規模噴火ごとに重ね合わせ、時間的な推移を表したものが右図及び右下図(溶岩流のドリルマップ)となります。

■ 溶岩流の到達時間

沼津市への溶岩流は、大規模噴火の場合で7日～最大で57日間、中規模噴火の場合で18時間～7日に到達する想定となっており、小規模噴火の場合には到達が見込まれていません。

■ 避難について

沼津市に到達する可能性のある溶岩流は、火口位置によって影響が及ぶ範囲が異なるとともに、到達最短時間は、18時間後となる見込みであることから、避難については、沼津市からの情報に注視し落ち着いて対応しましょう。



凡 例	溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
● 大規模計算開始点	溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
● 中規模計算開始点	溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
● 小規模計算開始点	溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
	溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
	溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲
	溶岩流が最終的(最大で57日間)に到達する可能性がある範囲

※計算開始地点から各規模噴火の溶岩流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で噴火が発生した場合は、異なる結果となります。

■ 降灰の可能性マップ



■ 沼津市の避難について

沼津市に影響を及ぼす主な噴火現象は、「溶岩流」と「降灰」です。

● 溶岩流
噴火口位置や規模によっては、沼津市まで到達しない想定であるとともに、沼津市への溶岩流の到達最短時間は18時間後を見込んでいます。富士山の火山活動の高まりが生じた場合は、沼津市からの避難指示情報に注視し、落ち着いて対応してください。

● 降灰
沼津市内は2～10cmの堆積が想定されていますが、風向きや風速により降灰範囲が変わります。沼津市への降灰が少ない場合でも、火山灰の影響により、停電や断水等の発生の可能性も考えられるため、非常用の備蓄品の用意をしてください。

● 避難について
溶岩流の流下範囲外にある避難場所や親戚及びご家族様、宿泊施設等に避難してください。
避難手際は、徒歩を基本としますが、避難行動要支援者の避難や噴火警戒レベル1～3である場合は、必要に応じ車両で避難してください。
避難する場合に備え、非常時の備蓄品の用意をお願いします。

● 降灰
降灰そのものを原因として直ちに生命に危険が及ぶことはないため、原則として、自宅での屋内避難とし、窓を閉め建物を密閉してください。
● 屋内の避難に備えて、備蓄品を用意しておきましょう。

■ 防災情報及び避難情報の入手先

気象庁・消防庁

報道期間 テレビ・ラジオ

Jアラート・プッシュ型通知サービス

住民

沼津市 沼津市公式防災アプリ (R6年度反映予定)

沼津市 緊急情報公式X (@沼津Twitter)

沼津市 危機管理情報メール

同報無線自動応答システム 055-955-5255

■ 非常用持ち出し品・非常用備蓄品 準備できたもの ✓ を入れましょう

避難するときに持ち出す「非常用持ち出し品」(必要最小限のもの)と、災害から復旧するまでの数日間を支える「非常用備蓄品」に分けて用意しましょう。

- 飲料水・生活用水
 - 7日分の飲料水の備蓄 (1人×3リットル×7日)
 - 生活用水
 - 水筒
- 食料品等
 - 7日分の食料の備蓄
 - レトルト食品
 - 缶詰
 - おやつ
 - 紙コップ
 - ラップ
 - 簡易食器
 - 箸
 - 包丁
 - ナイフ
 - 粉ミルク
- 停電への備え
 - 予備の電池
 - 懐中電灯(大型/小型)
- 医薬品等
 - 救急用品 (消毒液、傷薬、ガーゼ、包帯、ばんそうこ)
 - 常備薬
 - カット綿
 - はさみ
 - ピンセット
 - 使い捨てカイロ
 - 体温計
- 情報
 - 携帯電話・充電器
 - ポータブルラジオ
 - モバイルバッテリー
- 燃料の備え
 - 卓上カセットコンロ
 - ボンベ
 - 固形燃料
- その他 必要なもの
 - ヘルメット
 - ゴーグル
 - ライター
 - ローソク
 - 薬袋
 - ガムテープ
 - 筆記具・マーカーペン
 - 新聞紙
 - ロープ
 - 笛
- 衣類等・衛生用品
 - 衣類
 - タオル
 - ティッシュ
 - マスク
 - ウェットティッシュ
 - 除菌シート
 - 生理用品
 - 洗面用品
 - 簡易トイレ
 - トイレ用ペーパー
 - 歯磨き用品
- 非常用持ち出し品のポイント
 - ◇ 家族全員の目につきやすい場所に置き、すぐに持ち出しやすいようにしましょう。
 - ◇ 家族構成を考えて、必要な分だけ用意しましょう。欲張りすぎると、避難が大変になります。
 - ◇ ラジオは、正しい情報を得るために必要です。予備の電池は多めに用意しておきましょう。

■ 家族に安否を知らせるために...

災害用伝言ダイヤル (171)

大規模な災害が発生した時に被災地域内やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

伝言の録音方法
055-955-5255
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を入れる (30秒以内)

伝言の再生方法
055-955-5255
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を聞く

災害用伝言板 (web171)

インターネットを利用した安否確認の伝言板です。パソコンやスマートフォン、携帯電話等で利用できます。

web171

利用方法
web171へアクセス
https://www.web171.jp
被災地の人の電話番号を市外局番から入力
伝言を登録・確認

防災機関の連絡先

本防災マップに関する問合せ先

沼津市 危機管理課 〒410-8601
静岡県沼津市御幸町 16-1
電話: 055-934-4803
ファクス: 055-934-0027

静岡県気象台 (24時間対応) 0570-015-024

沼津市役所 (代表) 055-931-2500

沼津市役所 (危機管理課) 055-934-4803